

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
中村 亮介			

授業のねらい（概要）	近年、国際的な企業会計制度の変革はめざましい速度で進行している。この流れで、わが国の企業会計もその根幹から変わろうとしている。本講義は、このような状況のもとで、財務会計の最新論点について学習し、企業の経営成績と財政状態を表すといわれる財務諸表の何が違って、また何が変わっていないのかを学ぶことを目的とする。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】金融商品会計について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第2回 【遠隔】金融商品会計について引き続き学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第3回 【遠隔】リース会計について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第4回 【遠隔】税効果会計について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第5回 【遠隔】税効果会計について引き続き学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第6回 退職給付会計について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第7回 減損会計について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第8回 キャッシュ・フロー会計について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第9回 キャッシュ・フロー会計について引き続き学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第10回 連結会計について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第11回 連結会計について引き続き学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第12回 【課題】財務諸表分析について学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第13回 【課題】財務諸表分析について引き続き学習する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第14回 【課題】財務諸表分析を実践する。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p> <p>第15回 本講義のまとめを行う。 予習（時間）：次の講義で扱う論点を事前に予告するので、テキストの該当箇所を精読する。（120） 復習（時間）：課題プリントを解く。（120）</p>

授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	「構造的・システムの分析能力」と「実践的な問題解決能力及び管理運営能力」を養成することを目的としている。
到達目標	①財務会計の最新論点について会計処理を行うことができる。 ②上記①を踏まえて貸借対照表・損益計算書およびキャッシュ・フロー計算書を作成することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	こちらで作成した課題を配布し、解いてもらうことで講義を進めるので、講義中にフィードバックを行う。
履修上の注意	講義の特性として、簿記の仕訳を使っでの説明が多くなるので、基礎的な簿記知識が必要となることに留意していただきたい。なお、受講生のレベルによって内容を変更する可能性があるため、教科書は指示があつてから購入すること。
成績評価の方法・基準	レポートや学習意欲により総合的に評価する。
教科書	全経簿記上級 商業簿記・会計学テキスト (最新版) 著者名：全国経理教育協会編 出版社：中央経済社 価格：3024円
参考書・教材	
備考	講義科目。2020年度は12, 13, 14回を課題研究として学修する。 それぞれ、テキストの該当箇所の問題を解き、提出してもらう。それぞれ150分の学修を想定している。
教員との連絡方法	第一回目の講義にて連絡先を伝える。